



少年のプライド

校長 関口 寿也

新型コロナウイルスの第7波が、これまでにない感染拡大のスピードで猛威を奮っています。ご家族の皆様や子供たちが健康で、有意義な夏休みを送ってほしいと願うばかりです。夏休みと言えば、自然を相手にたくさん遊んだり、記憶に刻まれる光景に遭遇したりといったこととともに、宿題や自由研究も思い出の一角を占めるのではないのでしょうか。ある少年の夏休みについてお話ししたいと思います。

少年は小学校5年生。関東の丘陵地で過ごしていました。クラスは違えど近所に住んでいるN君は親友です。二人は、よく近所の小山に上がって凧揚げをしていました。凧は自然の力である風を読み、風に乗せて空高く舞わせる遊びです。高く舞った時の、糸を通じて感じる風の強さや凧のしなる感触、生きているがごとくグイグイと糸に伝わってくる凧の鼓動は、簡単に揚げるのできる洋凧であっても少年たちを魅了するには十分でした。二人の凧揚げにN君の父親がついてきたことがありました。揚げるのが難しい大きな和凧を持ち、見事にスルスルと空遠くに揚げていく様子は、子供ながらに「レベルが違う！」と感じずにはられません。実はN君の父親は、趣味の和凧づくりで国内の様々な大会に出場して凧を揚げ、入賞を果たしていた名人だったのです。その年の夏、N君のお父さんから「凧を作らないか？」と誘いを受け、意気揚々と作りに行くことになりました。ちゃっかりと夏休みの自由研究にもしようという考えとともに。

夏休みのある日、朝からN君宅にお邪魔し、いよいよ和凧づくりがスタートです。和凧の材料は、昔ながらの竹、和紙、凧糸、糊等です。80cm×50cmくらいの長方形の大きな和凧を作ることになり、まずは凧の骨となる竹を適した太さに割くところから始まります。凧の部位によっても太さが違います。10本近くその骨を用意したでしょうか。そしてその竹を向きを考えて組んでいきます。組むといってもジョイントパーツがあるわけでもなく、交差部分にボンドを付けて凧糸できつく縛っていきます。2か所目を組もうとすると1か所目がずれ、と、なかなか難儀します。一通り組み上げると全体の修正をしますが、これがまた難しい。小学生の力と器用さでは、かなりハイレベルでした。すべての骨が組み合わさったところで、上下左右の重さのバランスをチェックし、竹を削ったり、組み直したりと修正が入ります。この骨づくりが一番のポイントだと教わりました。その時すでに、自分の手間よりもN君のお父さんの手間のほうがこの凧にはかかっていることを少年は悟っていました。



骨組みが固まり馴染むのを待って、午後からは和紙を表面に貼り付けていきます。風を受ける部分です。障子貼りと同じで、ある程度貼ってから霧吹きで水を差し表面を伸ばすのですが、和紙が厚いこと、和凧の表面は反っていることから、伸ばすにも限度があり、最初からある程度パンと貼らないとうまくいかないのだそうです。少しずつ、少しずつ、貼り伸ばしていきませんが、凧の大きさがこの作業を難しくします。最後に絵筆を持って凧に絵を描き、バランスをとって糸目を付けて完成しました。作業を終えた時、少年は確信します。これは自分が作ったものではない、と。

数日後、N君のお父さんとその作った和凧を揚げにいつもの小山に向かいました。自分では、どうアドバイスをもらっても凧が重くて風に乗せることができません。ところが、N君のお父さんが糸をとると、まるで魔法を使ったかのように本当にスルスルと風に乗せ、あっという間に舞い揚げたのです。改めて尊敬の念をもってN君のお父さんを見つめることしかできませんでした。

さて、夏休みが明け、少年はこの和凧を学校に持っていきませんでした。胸を張って「自分が作った」と言えない作品だったからです。そして、「どうして学校に持って行かないのか」と口論になる母親に対して、「ほとんどN君のお父さんが作ってしまった」とは、手取り足取り教えてくれたN君のお父さんを思うと言えませんでした。言う術も知りませんでした。大人になった少年が振り返るに、それでもチャレンジして頑張ったのだから、立派な自由研究だよ！とも思えます。けれども、そこには芽生えかけた少年の小さなプライドがありました。「子供は小さな大人ではない」と言ったのはフランスの哲学者ルソーですが、子供には子供なりの思いや思考があったのです。そう、その少年は10歳の私でした。

夏休み、普段とは違った時間の流れの中で、子供たちは様々な体験や経験をしたいと思います。そして子供たちは大人が思ってもいなかった感情を抱き、成長していくことでしょう。例えば自由研究といった作品の成果(結果)に留まらず、大人の思いとは別に、そこに対する子供たちの思いや成長を見守っていくことも大人の役割なのかも知れません。

よい夏をお過ごしください。

8、9月の目標	
生活目標	きまりを守り、規則正しい生活をしよう。
保健目標	規則正しい生活をしよう。
安全目標	学校の決まりを守ろう。
給食目標	準備や後片付けを、安全に協力してやろう。
清掃目標	そうじは時間内にやろう。

日	曜	8月の主な活動・行事	
1	月		
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		
9	火		
10	水		
11	木		山の日
12	金		学校閉庁日
13	土		
14	日		
15	月		学校閉庁日
16	火		学校閉庁日
17	水		学校閉庁日
18	木		学校閉庁日
19	金		学校閉庁日
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		ラジオ体操
25	木		ラジオ体操
26	金		ラジオ体操
27	土		
28	日		
29	月	B	休み明け集会
30	火	B	移動教室前日健診(6)
31	水	B	移動教室(6)

校庭工事のお知らせ
 夏季休業中、校庭の改良工事を行います。期間中は、学校開放も含め校庭は使用できません。ご不便をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

★夏休みの過ごし方

- 交通事故、水の事故には、注意して下さい。
- 不審者に出会ったら、大声を出し、安全な場所に逃げ、助けをもとめる。すぐに警察に110番を。
- 早寝早起き朝ごはん。規則正しい生活をして下さい。
- SNSの約束を確認しましょう(7月号参照)。

★9月の保護者会の予定について

- 9月 5日(月) 5, 6年生
 - 9月 9日(金) 3, 4年生、
 - 9月 12日(月) 1, 2年生の予定です。
- 開催方法や時間等については、感染状況等を見ながら決定し、改めてお知らせします。

★3校引き渡し訓練について

9月6日(火)に聖ヶ丘中、連光寺小、聖ヶ丘小の3校合同の引き渡し訓練を行います。5時間目終了後を予定しています。詳細につきましては、夏休み明けに改めてお知らせします。

★6年生 八ヶ岳移動教室

- 前日健診 8月30日(火)
 - 八ヶ岳移動教室 8月31日(水)～9月2日(金)
- ※詳細については、6年生に配布されるしおりをご覧ください。

★夏季学校閉庁日

8月12日(金)と8月15日(月)から8月19日(金)は、学校は閉鎖されております。

○何かあれば教育委員会教育指導課に連絡をして下さい。

多摩市教育委員会教育指導課 042-338-6913

○土日、平日夜間のコロナ陽性、重大事故、重篤な怪我、行方不明等の緊急を要する場合
 市役所庁舎管理員 042-338-6855

★夏休みラジオ体操

8月24日(水)、25日(木)、26日(金)
 7時45分～8時00分 連光寺小校庭
 持ち物：22日発行のPTAだよりから「ラジオ体操カード」を切り取ったもの、水筒、タオル、帽子等
 雨天時でも、体育館で実施します。

夏休み明け最初の登校日 8月29日(月) 給食開始 9月1日(木)
 8月29日(月)～9月2日(金) 全学年4時間授業(6年生の移動教室を除く)